

H 2 2 千葉県中学校総合体育大会 バスケットボール競技 総評

千葉県中学校総合体育大会バスケットボール競技は7月28日・29日・30日に千葉県総合スポーツセンター体育館をメイン会場にして、3年生の最後の大会にふさわしい熱戦が繰り広げられた。

男子は第1シードの館山三中(館山)と第2シード稲毛中(千葉)が順当にベスト4に進出した。ベスト4残りの2チームは、新人戦準優勝の市川一中(市川・浦安)が8シードから、そして準々決勝で新人戦優勝チームの船橋中との接戦を制した萱田中(八千代)がノーシードから勝ち進んだ。準決勝の館山三中对市川一中、萱田中对稲毛中とともに1点を争う好ゲームが展開されたが、終始安定したプレーをみせた館山三中と後半に流れを掴み得点を伸ばした稲毛中が決勝進出を決めた。また破れはしたものの、粘り強いディフェンスと高いシュート力をみせた市川一中や萱田中の最後まで諦めないプレーに対して、会場から大きな拍手が送られた。

決勝戦は、春の選手権と同一カード。前半は館山三中はリバウンドからの速攻とインサイドを軸とし、稲毛中は速いパス回しからのジャンプシュートなどで白熱した展開をみせる。しかし後半になると館山三中の安定したインサイドに対し、シュートが落ち始めなかなか得点を伸ばせない稲毛中に焦りの色が見え始める。稲毛中は必死にオールコートプレスをしかけ、3pシュートを狙うものの、館山三中の勢いは止まらず、80対60で館山三中が初優勝を決めた。

女子は、準々決勝で僅差の白熱したゲームが展開されたものの、ベスト4にはシード校が勝ち進み、準決勝は秋・春を制し、三冠を狙う第1シードの昭和学院中(市川・浦安)対新人戦の雪辱を晴らしたい印西中(印旛)、もう一試合はキレのあるドリブルワークやパスワークで速い展開の八木が谷中(船橋)対厳しいディフェンスからゲームの流れを作り出す習志野一中(習志野)の対戦になった。そして決勝進出を決めたのは昭和学院中と習志野一中なり、春の選手権と同一カードとなった。ボールを必死に追いかける印西中や、スピード感あるプレーをする八木が谷中も随所に好プレーが見られるすばらしいチームであった。

決勝戦は昭和学院中がインサイド・アウトサイドのバランスの良い攻めで着実に得点を伸ばす。習志野一中もオールコートプレスからの速攻や3pシュートなどで反撃を試みるも、流れは変わらない。終始高さで勝った昭和学院中が、86対43で習志野一中を下して見事三冠を達成し、4年連続11回目の優勝を飾った。

男女ともに総体の上位2校は、8月8日から群馬県前橋市で開催される関東大会に出場し、全国大会出場を目指す。ここ数年は千葉県勢が関東大会でも活躍し、全国大会に駒を進めている。今年度も男子の館山三中、稲毛中、女子の昭和学院中、習志野一中の活躍を大いに期待したい。

尚、関東大会に関する詳細は、8月1日に組合せ会議が行われるので、決まり次第、千葉県バスケットボール中学生連盟のホームページに掲載します。

文責 千葉県小中体連バスケットボール専門部
副委員長 大橋 哲治(平川中)

年間ランキング(H 2 1 新人戦 ~ H 2 2 総体)

	(男子)	(女子)
第1位	館山市立第三中学校	昭和学院中学校
第2位	千葉市立稲毛中学校	習志野市立第一中学校
第3位	市川市立第一中学校	印西市立印西中学校
第4位	船橋市立船橋中学校	船橋市立八木が谷中学校

H 2 1 千葉県選抜選手 (県総体の閉会式で表彰がありました)

(男子)	(女子)
柘植 晴登(船橋) 加藤 優弥(葛飾)	木村 優子(昭和学院) 和田 香織(習志野一)
石川 直哉(稲毛) 和田 直也(船橋)	川原明香里(昭和学院) 萩原 美穂(妙典)
藤本 利樹(習志野五) 上山 敦士(館山三)	馬場 秋奈(昭和学院) 山下 志織(萱田)
八重澤洋平(船橋) 鷹啄 涼太(八千代台西)	先崎 里南(八木が谷) 小山 真実(加曽利)
高澤 淳(宮本) 戸田 貫太(松戸四)	田口明佳莉(福田) 小久保沙羅(麗澤)
立澤 祐矢(波岡) 青木 太一(緑が丘)	斉藤 由起(習志野台) 赤穂 さくら(昭和学院)